

# 東京城日報

刊 日 十 三

## 日本軍隊遣露說

華盛頓での取沙汰  
露國軍に對する優越權を認め其れに就て  
露國軍に對する優越權を認め其れに就て  
露國軍に對する優越權を認め其れに就て

## 米鐵條件附解禁

日本に對する除外例  
米鐵條件附解禁  
日本に對する除外例

## 全露大會經過

第一日  
出席者二千五百名  
全露大會經過  
第一日

## 兵器製造所の新營

本年の建設予定  
兵器製造所の新營  
本年の建設予定

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 前露陸相の獨探振

露國陸軍に對する獨探振  
前露陸相の獨探振  
露國陸軍に對する獨探振

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 陸奥建造

海軍大臣更迭  
陸奥建造  
海軍大臣更迭

## 東洋製鐵盛況

東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況

## 兵器製造所の新營

本年の建設予定  
兵器製造所の新營  
本年の建設予定

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 陸奥建造

海軍大臣更迭  
陸奥建造  
海軍大臣更迭

## 東洋製鐵盛況

東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況

## 兵器製造所の新營

本年の建設予定  
兵器製造所の新營  
本年の建設予定

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 陸奥建造

海軍大臣更迭  
陸奥建造  
海軍大臣更迭

## 東洋製鐵盛況

東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況

## 兵器製造所の新營

本年の建設予定  
兵器製造所の新營  
本年の建設予定

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費

## 陸奥建造

海軍大臣更迭  
陸奥建造  
海軍大臣更迭

## 東洋製鐵盛況

東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況  
東洋製鐵盛況

## 兵器製造所の新營

本年の建設予定  
兵器製造所の新營  
本年の建設予定

## 米國戰費

八月に於ける米國戰費  
米國戰費  
八月に於ける米國戰費



全道重罪囚を集めた麻浦監獄

▽無期懲役囚人△

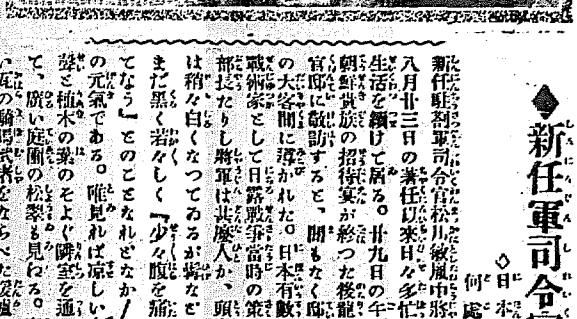
▽天の出獄を待つ

▽朝鮮人の男囚△

▽見るに忍びざる

市中に要して金品を強奪する

79151



新任軍司令官  
 日本 何處  
 新任駐朝軍司令官松村鐵庵中將は八月廿三日の委任以来日本に生活を送つて居る。廿九日の午、朝鮮貴族の招待宴が終つた後、松村官邸に歸歸すると、間もなく邸の大客間に導かれた。日本有數の政治家として日露戦争當時の策部長たりし將軍は其慶人か、頭は稍々白くなつてゐるが端々まだ黒く若々しく「少々腹を痛てなう」とのことなれどなかの元氣である。唯見れば涼しい。松村の菓子のをよぐ隣室を通じて、廣い庭園の松葉と見れば、庭の鋪石をなまらふに及ぼ

製紙三千圓土管一萬八

生し北陸地方蔓延の兆あり

華盛頓にては石井田村達

本國産土全部引れど在

與無量放の招待宴が終  
官邸に敬訪すると、聞

[illegible]

18

夜は更けて萬籟は寂靜ま

「変じたから、連ても助か

私わたしはもう年としがりの事ことで

其場なりと

れ替ふかは知りませんげれ  
私を人間に生れ替へさせ

明鮮大豆、豆油

廿四 四十二  
廿四 三十一  
廿四 三十一  
廿四 三十一

際、代連目新値を遂に十三

▲保合工

二月	二月	二月
五八二	五八二	五八二
五〇〇	五〇〇	五〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇
二二二	二二二	二二二
五九三	五九三	五九三
三〇〇	三〇〇	三〇〇
〇〇〇	〇〇〇	〇〇〇

▲兵庫前寄二  
十一百〇四號



五人囃で押し出す四白名目婆族連の着氣込

本報及び毎日中、土曜日の九月一日の夜の間、月會に歸る人氣に於いて申込は續々としてある百三十銀行の連中は二十四名の團體で押し出し十八銀行の連中も十數名に速り出すが其の他の銀行社にも大分参加する事となつて居ます日本經濟會議の四百名ノ機關は五人黨を氣配に驅はし

しますから近頃の様に御注意下さい  
妻族連の意氣込  
河川會に成る萬國聯合會  
千代松と仲原大蔵  
花柳界の代表者  
月十五夜の日  
萬國聯合會

したものが特製の御雲蒸が出来る……之れが

三十一日、天子御に相當するを以て、京原神輿にては午刻十時より齋主・齋員、合人等候條を受け、神前にお進し氏子總代・參勤し莊殿より奏樂し、又谷村齋主・社殿より御開扉申上は、由川海の神體、十空を奉獻したる上齋主は天長御の祝詞を奏し、千串を奉奠するや、參勤詣以千串を捧け、一同退下して式を終る筈なるが、正午叩まで御原を離さ、一般の氏手に参拜せしむる山なるを以て、天氣たれば定めし所山は限はふことならん

●二百十日  
てんじ  
天候は無事  
仁川觀瀾所の觀瀾に依れば去る二、二日に及り、颶風の氣那半常にかつて起したる故、昨晩は甚だ風雨

ものにあらすして上記の如き一般  
 壓の狀況に基くものなるを以て右

仁川觀瀾所の潮測に依れば去る二十  
一、二日に及び颶風の北東東岸に寄  
つて北走したる後高麗東海岸解爰は  
本邦東北地方沖を占め日つ猶次降  
盛となり大陸に向つて

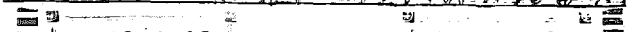
▲氣脈の傾斜 稍急となりたるを以て一般に東偏風流行し之れが爲め内地殊に關東北北海道方面に氣無きく低下するに到れり朝鮮には氣溫常年に比し大差なきも日

(1)冠岳の明月 西岸より (2)往十里驛の眺望 北

海邊に開けし脈の急激 (3)蘆溝平野の明月 遙に南西面を望む

船の一轉するまでは隨處分枝續す  
し儲二日二十日前後の颶風として一  
に恐怖せるものは南洋方面に發生  
て本邦に襲來する

▲颶風の影響 にして朝鮮  
於ては之れが影響を蒙らざるを察  
するも目下の處北極颶風は餘源の  
様なきを以て來る一日の厄日は内  
臺灣方面共に一般に無事なるべき  
にあらざらん



く會員に内魚男女の非附なきや  
 ◇五歳以下のお子供はお斷り致  
 ます ◇會費は(電車電)金三十五錢  
 ◇子供共(満十三)十錢と貢獻致す

往汽車  
復電車  
廻遊觀月會

六、入札人心得（對人他計略）  
區二執事聽取。コト

◇九月一日(土曜日)秋初十五の夜◇観月列車は午後八時南大門驛發車◇會場は域東清涼里◇餘興は郊外活動と洋樂隊演奏

夜◇觀月列車は午後八時南大  
門驛發車◇會場は域東清涼里  
◇余團、一郎外岳、勳三、羊樂、家直、奏

慈善音樂會 京城日本基督  
會婦人會主催の慈善音樂會は九月  
日午後八時より長久池教會に於  
て開演出演者はピアノの大家清水  
氏ヴァキオリン大家若崎氏を中  
心とし目下東京より入京中なる林之  
氏のピアノ、大場勇之助氏のヴァ  
オリン、安田圭之介氏のバリトンな  
り猶ほスミス氏、日島金鐘其  
の他、

大正館 ▲興亞ラヂオ大山上前特アンプ  
納富て新設電氣のものと全四ノ探偵用赤赤アンプ  
△フツドサクル全十四個二十八巻の内四ノ全  
△有線劇 寶島ニゴザサクル 四巻六十巻  
△大成功 寶島ニ正アフルサクル二巻  
會館の 興亞大演劇女校員も盛に全四  
吉金贈 演劇の女校員も盛に全四  
演劇女校員も盛に全四  
演劇女校員も盛に全四

浪花館は女義 久しく五穀  
一の浪花館で開演してねた浪花館  
では三十一日から娘浮瑠璃の竹

の  
砂

喝采カサイを受ける事ことだらう

有二三郎衰弱の噂　神戶渡川順精社に盛  
中の船の客は我三郎三日此處歸郷せり  
別なより日へへ歸し利かす一日十三圓も  
大分儲けなりと云うやうで  
甲種船長の詐欺　大連吉野町五の五四  
中野里に於て中野里船長を以て係  
六日未曉三時七

日報曆（九日小）  
一日土曜二月十日　新月午後三時二十  
分（陽暦三月三分）　夜間十時四十分  
二日陰月三日十一分　夜間十時四十九分  
三日陰月五日十二分　夜間十時四十九分  
六日未曉三時七

人の詐欺 大連吉野町三の五四  
 前市甲特船長從六位功

大分所を請へて、捕さるゝ  
 所を食ふといふ。獨逸婦人、にの丈夫のキツチツチン  
 ンルルケが作務、となつて久留木にゐる  
 といふ。

七日 金曜 八せんの人  
 八日 土曜 百四十六  
 九日 日曜 百三十五  
 五分

九月 日曜 三十七  
 十月 日曜 三十七  
 十一月 水曜 二十  
 十二月 日曜 二十  
 口法親類

十六日 日曜 八十八  
 十七日 月曜 八十八  
 十八日 火曜 八十八  
 十九日 水曜 八十八  
 二十日 木曜 八十八  
 二十一日 金曜 八十八  
 二十二日 土曜 八十八  
 二十三日 日曜 八十八  
 二十四日 月曜 八十八  
 二十五日 火曜 八十八  
 二十六日 水曜 八十八  
 二十七日 木曜 八十八  
 二十八日 金曜 八十八  
 二十九日 土曜 八十八  
 三十日 日曜 八十八

長節の各演藝

夕々著しく涼しくなつた上に旗日でも最も暑い天長節の一日を夜行で思ふ存分客を呼ばうとい作戦から斯ういふ脚には抜目の無京城の各活動家各館では三十一から選りぬいた取つて置きの新装と全部差替へて華々しく開演したその日の活動見物のために各館の寫を記して見る

▲三十一日曜日 出午六時二十七分 入夜六時二十分 演劇一時間五十三分 夜十一時七分

▲應酬の極種 應酬の盛の極くは、を我に招きまして押身する適宜切つて身をやつし皮弁が別に無(聲)の爲にて大相違してもよ

▲三十一日 午時三十分と腹面にてます。そして(第一)とて曲で二程に切り右三巻に繰り前振ふりかけて

土末  
建築  
金物商  
諸官商  
御用達  
京城本町一丁目  
佐野彦  
電話

撰の  
へ  
全

御出荷被成下度敏速に誠實に  
 取扱可申候間御愛顧引立の事  
 平壤果菜

年

德商 錦安

有黨

元造釀

會名合勝

元賣發

株式 第一銀行支店  
會社  
支配人 西村道彦  
京府本町二丁目(振替貯金京城一番)

界の謎屋

大正

告に於て、歐洲大戰の由來因縁を説く。未だ本國の  
 戦禍に投ぜんとす。今や至世界を擧げて、國  
 民の間に戦争を要するの秋に非ずして何ぞ乎。  
 如く痛切叙述精透なるものを見ず。而  
 本書に於て著者の豫説したる如く、世界の  
 經過に繼續し發展したるあるは、奇蹟  
 向ふに。

町  
寒  
店

行所  
東京市京橋區一丁目三番  
振替口座三一〇〇〇  
丁目  
〇番  
京城日報社代理部  
大阪屋號一  
電話一六六番  
嚴松堂

町田野國總下  
造釀門衛右郎七木茂  
店約特  
日丁一町治明  
店商野收  
卷三五二話電

年ける誤を擇撰の油醬  
 キ品絶の唯一東關へ給み試  
 萬六額年りた冠に國全高造釀  
 力買購の大最は高造釀の大最  
 優質品は力買購の大最



浪桃川如燕口演  
上義三郎速記

**▲書籍御案内▼**

同本  
米藏牛  
三商工界の七十日 郵税一〇五  
版修學行簡日記 郵税三五六  
同版紐育市内地所稅稅九  
女義士傳 郵税五〇  
京城日報代理部(振替)京城二〇〇

[illegible]

九月二日 九月十六日 丁未  
 本令五黄八方間弗誠

[illegible]

實は賤人が拂底で困つて居るんだが  
何うだ俺の家へ来て草鞋を脱いだら  
甚かないながら世話をして上げるが  
庶・イヤそれは有難い何分何うか  
鄙い申しませうと云つて改む御門で興  
に淺草の三軒明へ参りよした。

九月一日 九星  
西七月十五日 酉午  
本命 六白乾問 先負

▲六白 理解せざる事有日 見し方 南方は吉  
求財は吉 求官は吉 求子 吉 求女 吉 求  
求財は吉 求官は吉 求子 吉 求女 吉 求

電話二六〇  
浪花館

仕事をするからと云つて打付けに  
あるものぢやア無わ、然し濟んだこ  
とを彼は云つたつて仕様が無わ、是  
からは氣を付けたるが宜い、然し  
お前さんは何處の者だ、甚だ上方  
だ、今度江戸に大層大きな火事があ  
つたといふ話を聞いて、ブラリと江  
戸へ今日初めて入つた来たのだと云  
ふ覺然と、デハ未だ江戸の勝手は  
些とも知らねわのだから、俺は淺草の  
三軒即ち居る政右衛門といふ者がだ

[illegible]

して居るのを見て平凡なものだぞと、そんなことを云ふものじやアね、嫌だつてそんなことを云はれて喜ぶ者はありやアしねわ、然てお爺さんは稼業は何だわ、甚、俺が、俺は大工だ政、大工だも、同稼業が、甚、然うだよ、政、それは叶けねわや、素人なら兎も角もお爺も猶且其の道で飯を食つて居ながら、腕へ甚腰に拙い

[illegible]

A black and white illustration of a baby sitting in a wooden carriage. The baby is wearing a dark cap and a dark dress with a light-colored apron. The carriage has large spoked wheels and a curved front. The background is simple, with some foliage visible on the left.

人

種		類	
ホシ	ホシ	ホシ	ホシ

不

**東洋第一**

嚴密精確に調劑せらるゝが故に

**効能的、確なるは當然の理也。**

### 主 効

▽消化不良  
▽胃弱  
▽食欲不振  
▽過食  
▽宿酔  
▽心臓病等

東京橋南傳馬町


星製藥株式會社

電話市橋一七八五  
電報東京二〇五三二

價 定  
— 五十 —  
圓 錢 銭

何故なんぜに効きくか  
と問ふ  
なかれ


ホシ胃腸薬は  
規模の宏大なる  
設備の完全せる  
事



本シ人參製精は精力を盛にし腦力を鋭め血行を良しする効果あり  
 藥用人參は不老長生の靈藥として古來より盛に實用せらるゝものにして時に又  
 那に於ては專ら精力増補の目的を以て常用壯盛を極め本邦に於ても近時年々共に其  
 實用益盛なり蓋し朝鮮人參には強似又は不良のもの多くして真正純良なるは  
 極めて稀なり。本シ人參製精は人參研究のオノソリキにして朝鮮總督府顧問たる  
 農科大學の三七博士が朝鮮人參の本場たる開城産の逸品中より優良のものを選擇し  
 是を化學的に精製せるもの數ある人參製精中の最優品なり


# 老

人參丸 廿錢 五十錢 一圓二圓  
 人參錠 五十錢 一圓  
 人參末 五十錢 一圓 二圓 五圓  
 參助工キス 五十錢 一圓 二圓 五圓  
 參助葡萄酒 一圓



營養不良 老衰 陰萎 腎臟炎 等に効あり

星製藥株式會社  
 東京市千代田區神田馬町二丁目  
 電話一七八五(獨資)二〇五二

  
 朝鮮人參 てんせんこんじん  
を化學的に精製せる  
 本劑は  
 神經衰弱、ヒステリー、精力衰退、貧血、肺病



# 京城日報

日一十三月八年六正太  
(頁八第世合と刊)

## 李朝代々

高麗朝の代々  
消長 李朝の前半と後半との概況  
淺見倫太郎氏談

李朝の代々、高麗朝の代々、消長 李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。



李朝の代々、高麗朝の代々、消長 李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。

李朝の代々、高麗朝の代々、消長 李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。

李朝の代々、高麗朝の代々、消長 李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。此の如く、高麗朝の代々は、李朝の代々の消長、李朝の前半と後半との概況、淺見倫太郎氏談。

## 日米協力

必要とする支那人の意見

日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。

日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。此の如く、日米協力の必要とする支那人の意見。







金引換  
同三月十日迄に  
申渡

[illegible]

附  
北京城支

銅鑛 鑛區買入致候  
 亞鉛鑛 鑛區買入致候  
 但可權先頭權及新發見其  
 右希望者に直接御申込相成度候  
 京城旭町一二丁目電話九五五  
 三友鑛業事務所  
 試食用各種 白土商店  
 崎址販賣

組前金

**最新刊**

大正六年五月版發售録  
●月一日現在版發售録乙印部局一〇〇〇  
●債權法論著第十卷 廣益堂大郎 三〇〇  
●伊太利亞彫刻史(明治) 幸次 五〇〇  
●軍する身(明治)功海軍少佐 一〇〇  
●海への馳ぎ(阿部四郎) 一三五  
●谷村定三著 定價五十錢

謹啓、陳者今般都會に依り當所調査係を  
京城南山町二丁目三十一番地當所京城  
出張所内に移し來九月一日より執務爲  
す

**廣告**

振替京城二〇四五號

番地當所京城爲

致候に就ては、今般鎮山ノ御覽下言至  
 關する件は同所に御照會被成下候様致  
 度右御披露旁如此御座候也 敬具  
 大正六年八月  
 久原鐵業株式會社 鎮南浦製鍊所



律師事務所左移轉致候

丹波栗 苗特撰鹿城松書集  
 波栗 本豫約募集  
 波栗 照益壽書至意詳答  
 波栗 波水上郡和田一孝遺書 中朝高僧  
 溥記 生女男  
 募集  
 月僮優美壽會  
 城溥記 修學校  
 天長節祝日  
 晝夜二回開館  
 發起人  
 百圓之露國公債 四拾餘圓賣出  
 確實有利之放資物 買時只今也  
 引受賣出額拾萬圓 留種金全上萬圓無記名  
 發行及償還 同五年分發 同五年分發 同五年分發  
 利率及支拂 五分五厘 每年利息 每年利息 每年利息  
 申込證 限九月一日 同十月迄  
 申込證 金百圓 付金五圓也  
 辯護士 松本正寬  
 長電話一〇五四番  
 代理店設置廣告  
 日本勸業銀行債券月賦販賣所  
 日鮮人外勤員募集  
 仁川總代理店  
 仁川仲町三丁目  
 同 仁川總代理店  
 拜啓者益々神慮之機本大寶號陳君今般仁川方面各埠之御便行を計ら  
 爲爲代埋店を設置し以て特選神慮之御便行を御便行可申候間一  
 所多少に不拘御用命の程本願上候  
 仁川仲町三丁目 同 仁川總代理店

物品購買公告 京城府  
大正六年九月五日午前九時開會  
計係二號照合含ヘシ

又、理想の苗出來  
正丹栗 苗持約募集  
波栗 本豫約募集  
波栗 本豫約募集  
波栗 本豫約募集

簿記募集 生女男  
簿記募集 生女男  
簿記募集 生女男  
簿記募集 生女男

月曜優美書會  
今週有志者小紅梅佳書の大家  
或下度也 諸君を開き餘暇御來觀  
或下度也 諸君を開き餘暇御來觀

天長節祝日  
其夜二回開館  
!!!來る!!!  
!!!來る!!!

赤輪 赤輪  
赤輪 赤輪  
赤輪 赤輪  
赤輪 赤輪

大正館  
大正館  
大正館  
大正館

洋服 洋服  
洋服 洋服  
洋服 洋服  
洋服 洋服

銅鐵鋸 鐵區買入  
銅鐵鋸 鐵區買入  
銅鐵鋸 鐵區買入  
銅鐵鋸 鐵區買入

最新刊  
最新刊  
最新刊  
最新刊

算術難問題  
算術難問題  
算術難問題  
算術難問題

大阪屋  
大阪屋  
大阪屋  
大阪屋

移轉及歸宅廣告  
移轉及歸宅廣告  
移轉及歸宅廣告  
移轉及歸宅廣告

百圓の露國公債を四拾餘圓で賣出  
百圓の露國公債を四拾餘圓で賣出  
百圓の露國公債を四拾餘圓で賣出  
百圓の露國公債を四拾餘圓で賣出

確實有利放資物買時只今也  
確實有利放資物買時只今也  
確實有利放資物買時只今也  
確實有利放資物買時只今也

發行償還 發行償還  
發行償還 發行償還  
發行償還 發行償還  
發行償還 發行償還

利率及支拂 利率及支拂  
利率及支拂 利率及支拂  
利率及支拂 利率及支拂  
利率及支拂 利率及支拂

中込 中込  
中込 中込  
中込 中込  
中込 中込

申込 申込  
申込 申込  
申込 申込  
申込 申込

價格及引渡 價格及引渡  
價格及引渡 價格及引渡  
價格及引渡 價格及引渡  
價格及引渡 價格及引渡

引受賣出所 引受賣出所  
引受賣出所 引受賣出所  
引受賣出所 引受賣出所  
引受賣出所 引受賣出所

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取

所取 所取  
所取 所取  
所取 所取  
所取 所取



